



行政情報

平成26年に発生したクレーン等による労働災害発生状況（速報）

愛知労働局 労働基準部 安全課

1 死亡災害発生状況

愛知労働局管内において平成26年に発生した労働災害による死亡者数は2月23日時点で57名となり、前年比3名の増加となっています。

クレーン関係の死亡災害は表1に示すように、平成22年を除き毎年発生し、平成26年は9名と、前年比8名の増加となっています。

内訳は、クレーンを起因物とするものが3件、移動式クレーンを起因物とするものが4件、エレベータによるものが1件、玉掛用具によるものが1件となっております。

（表1）

発生年 起因物	H17年		H18年		H19年		H20年		H21年	
	休業	死亡	休業	死亡	休業	休業	休業	死亡	休業	死亡
クレーン等 (玉掛用具含む)	246	2	231	5	176	4	179	4	134	5

発生年 起因物	H22年		H23年		H24年		H25年		H26年	
	休業	死亡	休業	死亡	休業	死亡	休業	死亡	休業	死亡
クレーン等 (玉掛用具含む)	138	0	155	1	130	2	122	1	152	9

行政情報

- 平成26年 クレーン等による労働災害発生状況 … ①
- 移動式クレーンの安全運行について … ④
- STOP! 転倒災害プロジェクト2015 … ⑤

災害統計

- 平成27年1月の死亡災害について … ⑥

免許試験情報

- 平成26年の免許試験実施結果 … ⑦

お知らせ

- 「地震対策を考えるセミナー」が開催されました … ⑧

ボイラー関係

- 全国工作責任者大会質疑応答要旨（その2） … ⑨

支部便り

- 高校生がボイラー取扱い技能講習を修了 … ⑫
- 講師就任のご挨拶 … ⑫

クレーン関係

安全推進情報

- 第12次労働災害防止推進計画と事業方針 … ⑬

支部便り

- 半田教習センター入所のご挨拶 … ⑭

お知らせ

- 検査事務所便り（第50回） … ⑭
- 第36回全国クレーン安全大会発表テーマの募集 … ⑭

ホットコーナー

- 名古屋大学減災館を訪ねて … ⑮

- 編集後記 … ⑯

2 休業災害発生状況

平成26年に発生したクレーン等及び玉掛用具を起因物とする休業4日以上の労働災害は152件であり、平成19年から増減を繰り返しながらも長期的に見ると減少傾向を示しています。平成26年は未だ確定してはいませんが、クレーン等災害はすでに昨年より増加しています。

(表2)

起因物		発生年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
玉掛用具			2 (1)	26	41	37	23 (1)	37 (1)
クレーン等			11 (4)	112	115 (1)	95 (2)	100	115 (8)
クレーン等の内訳	クレーン		53 (2)	57	63 (1)	54	59	67 (3)
	移動式クレーン		35 (1)	30	30	28 (1)	25	24 (4)
	デリック							
	エレベーター・リフト		14 (1)	14	16	5 (1)	10	13 (1)
	揚貨装置			2	2			2
	ゴンドラ			1				
	機械集材装置・運材索道			2		1	1	
	その他のクレーン		8	6	4	7	5	9

() 内は死亡者数

上記の玉掛災害37件、クレーン等災害115件の主な事故の型は次のとおりです。

- ・ 挟まれ, 巻き込まれ 59件 (56)
- ・ 飛来, 落下 53件 (26)
- ・ 激突され 21件 (20)
- ・ 墜落, 転落 11件 (8)

前年に比べ、いずれも増加し、特に飛来, 落下は倍増しています。

* () 内は H25

また、上記の玉掛災害37件、クレーン等災害115件の主な業種別内訳は次のとおりです。

(表3)

業種	発生年	H21年	H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
製造業		62 (1)	69	92	75	55 (1)	83 (4)
建設業		35 (2)	24	25 (1)	24 (1)	19	32 (3)
運輸交通業		11 (1)	17	17	13	24	14 (1)
商業		14 (1)	8	8	7	13	8 (1)
上記以外		17	20	19	13 (1)	12	15

() 内は死亡者数



印刷のことなら
何でもご相談ください

営業品目

- 企画デザイン
会社案内
パンフレット
チラシ・社史
記念誌
- データ処理
名簿・価格表
マニュアル
- 業務用印刷
名刺・封筒
はがき
- 自費出版
自分史・詩集
追悼集・旅行記



株式会社 カミヤマ
総合印刷

<http://www.kamiyama.co.jp>

■本社
〒451-0042 名古屋市西区那古野一丁目21番14号
TEL (052) 565-1118
FAX (052) 565-1054

■上名古屋工場
〒451-0025 名古屋市西区上名古屋三丁目18番1号
TEL (052) 524-2711
FAX (052) 524-2199

〔参考〕死亡災害発生状況の概要（26年）

	月	事故の型	起因物	発生状況
1	2月	転落	移クレーン	河川護岸工事において、クレーン機能付き油圧ショベルを用いてコンクリート打設用のホッパーをつり上げ、旋回したところ、河川に転落し運転者がその下敷きになった。
2	6月	はさまれ	クレーン	工場の設備整備作業において、使用していた天井クレーンの走行装置（近接防止装置）が故障したため、被災者がクレーン走行サドル部分を点検していたところ、突然走行したクレーンに挟まれた。
3	6月	激突	移クレーン	土場に保管してある木材を車載型グラブに積み込むため、操作席に向かおうと、階段状のステップの1段目に右足をかけようとしたところ踏み外し、ステップの角に右ひざを打ち付け筋断裂の負傷を負った。その後、その負傷が引き金となり、約1ヶ月後に肺塞栓症が発症し死亡に至った。
4	6月	転倒	移クレーン	2階建プレハブ解体工事において、積載形トラッククレーン（つり上げ荷重2.93t）を用いた荷積み作業に際し、4分割されたプレハブ（重量約1.7t）を後方旋回させて当該トラックの荷台に載せようとしたところ、車体が転倒し運転者が下敷きになった。
5	8月	はさまれ	エレベータ	タイヤ販売店の倉庫内において、荷物用エレベータにタイヤを乗せ、被災者も搬器（扉なし）に乗り1階から2階へ上がる途中、体が昇降路から外にはみ出す姿勢となり、1階天井との間に挟まれた。
6	9月	落下	クレーン	工場において、天井クレーン（つり上げ荷重15t）を用いて、金型プレート（複数の金型で構成。総重量8.7t）をつり上げ移動したところ、当該クレーン本体のワイヤーが切れ、被災者が金型の下敷きになった。
7	9月	落下	玉掛け用具	工場において、天井クレーン（つり上げ荷重1t）を用いて、鋼管棚（重量0.6t）をつり上げたところ、玉掛け用具であるベルトスリングが切断し、被災者がその下敷きになった。
8	10月	はさまれ	クレーン	工場において、自動搬送装置（スタッカークレーン）の異常（異音）確認のため、被災者は、同装置点検用架台の手すりの上に乗って点検していたところ、同装置が自動運転により同人の後方を走行し、同装置の上部フレームと工場建屋の梁に挟まれた。
9	10月	転倒	移クレーン	資材置き場において、積載形トラッククレーン（つり上げ荷重2.93t）を用いた移動作業に際し、敷鉄板（重量1.37t）を車体側方で吊り上げ、車体後方に向け旋回させたところ、車体が転倒し、運転者が下敷きになった。
件数外	8月	落下	玉掛け用具	工場に設けられた炉の補修作業において、クレーンを用い炉の扉（300kg）をつり上げたところ、玉掛けワイヤーが切断し、被災者がその下敷きになった。 （被災者が社長なので、統計上は含まれない）

（注）記事は簡略化のため、引用元（愛知労働局・報道等のHP）の情報を加工しています。詳細は当該HPでご確認下さい。

受講をお待ちしています



資格は
NISSHA

- ・玉掛け ・小型移動式クレーン ・移動式クレーン ・高所作業車
- ・車輛系（整地等） ・車輛系（基礎工事） ・フォークリフト
- ・ガス溶接 豊川製作所

▶詳細はインターネットでもアクセスできます。 <http://www.n-sharyo.co.jp>
▶E-mail: KYOSYU@cm.n-sharyo.co.jp

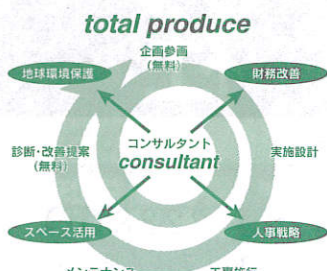
愛知労働局長 登録教習機関

日本車輛製造(株)技術教習所

〒475-0831 半田市11号地20番地 TEL(0569)22-7549 FAX(0569)22-7103

オンリーワンの技術とサービスでボイラ設備をサポート


Invisible fine play,
you will see in your heart



total produce

consultant

- ボイラ
 - 川重冷熱工業(株)指定販売工事代理店 ●水管・炉筒煙管ボイラ整備・性能検査
 - その他各貫流ボイラメーカー特約店 ●各種貫流ボイラ自主整備・メンテナンス
- 問題解決サービス
 - 省エネ診断 ●リニュアル設計施工 ●太陽光・小型風力発電装置 ●コージェネシステム
- 環境装置



株式会社ナゴヤ保岳化学工業社

詳しくはWebで ➡ URL <http://www.nagoyahokan.co.jp>
「ナゴヤ保岳」で検索

本社
〒462-0834 名古屋市中区長町2-17
TEL 052-911-9326 FAX 052-916-2061

静岡営業所
〒422-8034 静岡市駿河区高松1-12-1
TEL 054-237-8288 FAX 054-237-8289

「地震対策を考えるセミナー」が開催される

去る2月3日、愛知県下の労働基準協会が主催する「企業の総合的な地震対策を考えるセミナー」(ク・ボ支部後援)が名古屋国際会議場で開催されました。本誌1月号でご案内申し上げたこともあって、会員の皆様もお越し頂き、定員500名の会場は満席でした。

セミナーは三部構成で、

- ① 地震工学の福和伸夫先生の「必ず来る！南海トラフ地震“予想される人的・物的被害”」
- ② 経済学の内田俊宏先生の「地震後の企業が生き残るために“予想されるマクロ経済への影響と企業存続のための対策”」
- ③ 防災対策の石田昌敬先生の「企業の貴重な人材を守る“企業の地震防災力を高める”」でした。

最初の福和先生は、平成25年度東海クレーン安全大会の特別講演の講師でしたので、皆様ご記憶でしょう。福和先生のお話は相変わらずの歯切れのよい、分かり易いお話しでした。今回も、天井のシャンデリアを指差し、今、揺れが来たときは気をつけて、とユーモアを混じえて講演が始まりました。

内容は、必ずやって来る大規模地震。それに備える具体的な事例、地域の地盤事情、法的な考え方などを説明されました。

「災害は忘れた頃にやってくる」とは寺田寅彦の言葉。名古屋はテレビ等の近くは熱田台地のいい地盤の上に立つが、他には柔軟な地盤もある。地盤の状況によって、揺れは大きく異なるなどのお話が大変勉強になりました。先生は、もっと、知りたければ、名大構内にある「減災館」を訪ねるようにお話がありました。(15頁のホットコーナーをご参照下さい)

続いての内田先生は、エコノミストとして著名な方であることはご承知のとおりです。内田先生からは、阪神淡路大震災と東日本大震災の被害状況比較、経済被害の内訳、生産水準や消費マインドの急落の状況などを詳しいデータを下にお話されました。そのデータの中で、震災後の神戸港の凋落が著しく、少々ショックを受けました。1980年に世界第3位の港が、2012年は52位なのです。アジア各国の台頭など他の要因もあるでしょうが、震災後の復旧の遅れが影響を与えたことは間違いのないでしょう。

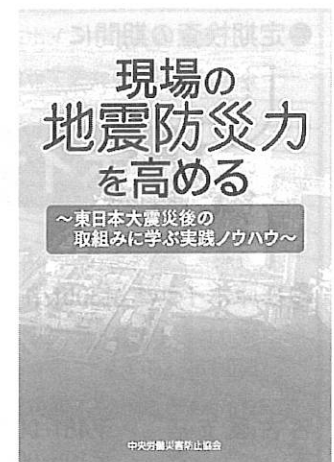
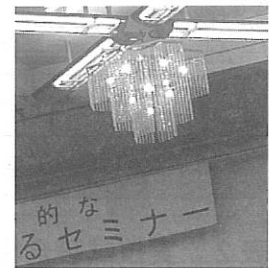
今後、リニアが整備され、これが経済大動脈のバイパスとなり、震災への強度が高まります。日本経済を支える中部圏における業務継続計画(BCP)の重要度は、一層高くなると締めくくられました。

最後は、中災防でご活躍の石田先生です。先生は中災防のテキストを用いて、BCPの詳細を具体的に説明されました。

地盤建屋の補強対策、オフィス家具の転倒対策、緊急時の通信回線、避難通路、ライフラインの確保、マニュアルの策定、緊急対応、教育訓練など、抜けない対策のお話でした。

現場の対策の中で、移動式クレーンの耐震対策のお話がありました。使用時は鋼板などを敷きアウトリガーを一杯張り出して安定を図る、とのことでした。そんな地震対策としての移動式クレーンの設置が大変に重要だと気付かされました。

来て欲しくない大地震、でも間違いなくやってきます。そのときの被害を少しでも減らすために、何をするか、何が出来るか、しっかり検討しようと考えさせられるセミナーでした。



安全推進情報

平成27年2月9日に開催された理事会・企画委員会合同会議において、政府が策定した「第12次労働災害防止計画」を受けての当支部版が平成27年改定版として、事務局より報告されましたので、紹介します。

第12次労働災害防止推進計画（平成25年～平成29年の5ヵ年）

（一社）日本クレーン協会東海支部

当支部は、愛知労働局の策定した標記計画に賛同し、目標達成に向け下記のとおり活動して参ります。

記

1 計画が目指す社会

・・・<働くことで生命が脅かされたり、健康が損なわれるようなことは、本来あってはならない>・・・
全ての関係者が、この意識を共有し、安全や健康のためのコストは必要不可欠であることを正しく理解し、それぞれが責任ある行動をとることにより、「誰もが安心して健康に働くことができる社会」を目指します。

2 計画の目標（愛知県下、以下同じ）

平成29年における県下の労働災害による死亡者数を40人以下、死傷者数を15%以上（平成24年対比）減少させること。（速報値26年死亡者数56人・死傷者数5,920人 対前年比0.7%減）

3 現状と課題

(1) クレーン等（含む玉掛け）の労働災害発生状況

中長期的には減少傾向にあるものの第11次防の5ヵ年の期間において被災者数は死亡12人（第10次防19人）、休業4日以上は734人（同1,120人）で、依然として毎年140人を超える労働者が被災し、数人が死亡しています。

(2) クレーンの転倒等の事故と災害

	22年	23年	24年	25年	26年
死亡者数	0	1人	2人	1人	9人
死傷者	138人	156人	132人	123人	161人

平成26年において急増した死亡災害は、起因物別に、クレーン3件、移動式クレーン4件、玉掛け用具1件、エレベータ1件であり、大変に憂慮すべき事態となっています。（26年は速報値、他は確定値）

(3) 残留リスク情報（平成24年労働安全衛生規則改正等）

規則改正により「機械包括安全指針とRA」「残留リスク情報提供」の対応が求められている中、26年度に啓発リーフレット（クレーンと移動式クレーンの2種）を完成し、広報に努めています。

(4) 老朽化、寿命を迎えたクレーン等

インフラの老朽化と同様、クレーン等の機械設備も予防保全、機能改善、更新等が課題とされています。

4 具体的な取組内容（死亡災害防止対策を重点に行う）

(1) 理事会・企画委員会・3部会による諸活動の推進、本部・行政当局の方針に的確に対応します。

(2) クレーン製造整備部会

クレーン災害の急増対策、危険予知セミナー等の開催を検討します。また、今秋名古屋で開催される全国産業安全衛生大会での研究発表に応募しました。

(3) 移動式クレーン製造整備部会

移動式クレーン災害の急増対策、事業場を訪問しての好事例収集等を検討しています。

(4) エレベータ等製造整備部会

災害情報収集と事例集の作成、死亡災害を受けての啓発ステッカーの作成等を検討しています。

(5) 安全大会・競技大会の機会、広報誌・リーフの配布・ホームページ等を活用した各種の広報、啓発活動に努めます。

(6) 登録教習機関、認定職業訓練学校として、質の高い教習、講習を提供します。

(7) 支部を支える会員565名（企業・個人）に必要な安全情報等を提供します。

減災館を訪ねて

地震対策のセミナーの機会に、名古屋大学の福和教授がご紹介された名古屋大学「減災館」を訪ねました。先生は減災館のセンター長です。

施設は免震構造建物。特徴的な三角形の平面を有し、大学キャンパスの「研究・対応・備え」の場となる拠点施設です。

センターに入ろうとすると、なんと、福和先生のお出迎えがあり、びっくり？実は、先生はたまたま外国の賓客であるモンゴル国の大臣が見学されるとのことで、お迎えのスタンバイをなされていたのです。しかも、私が外国人の友人を数名連れて行ったものだから、誤解されたようでした。しばらく、先生に英語で施設の説明を頂きました。ああ、ラッキー、辞書を片手にどうやって説明しようかと悩んでいた私はホッとしました。(それで、ホットコーナーの記事としました)

その後が更にびっくりでした。先生のお許しを得て、お越しになられた大臣のご一行様の後方で説明を伺っていたところ、先生はずっと日本語でお話されるのです。そう、例の調子です。随行の方が通訳している様子もありません。そうです、大臣は日本語がお分かりになられるのです。外国の大臣で日本語がお分かりになられる方は、一体何人いらっしゃるのだろうかと思いつつ、とても親しみを覚えました。

さて、施設内部のホールには、様々な展示物があります。詳しくはHPをご参照頂くとして、特に、驚かされたのは、「地震応答体感装置」です。シミュレーション技術と長周期の振動台を統合した装置です。2次元の長周期・



ロングストローク振動台により、これまでの振動台では再現が難しかった超高層ビルの揺れを再現しています。高層ビルの揺れを間近で見ることが出来ました。

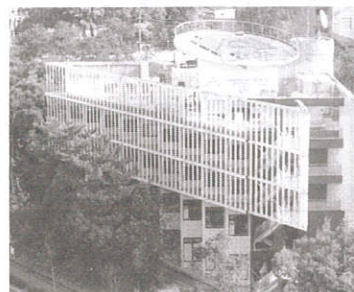
次の写真の展示物は、清州城跡からみつかった天正地震(1586年)による液状化の痕跡です。清洲城は、この地震後、名古屋城として移築されたそうです。このほかに液状化現象を実験する装置も展示されていました。

建物の北側の通りから免震装置がガラス越しに見学可能な「免震ギャラリー」となっていました。免震・制振技術を実物で学ぶとともに、各種の地震計や記録装置についても学習することが出来ました。

ここには更に建物(6000トン?)を実施に揺らす装置もあるそうです。

私たちは、有意義な見学と思わぬ賓客とお会いできてうれしい学習の時間を持つことが出来ました。私は、施設の「減災館」とされたネーミングに感心しました。私でしたら「防災館」とします。しかし、大震災が起きたならば、多くの方が亡くなられるのが現実でしょう。完全な「防災」は不可能であり、この被害を少しでも減らすように「減災」が大切であることをこの名称からもしっかりと認識することが出来ました。

皆様には、施設の見学を是非お勧めしますが、常設展示ではありませんので、必ず以下のHPで開館日と時間をご確認の上でお出かけになって下さい。 減災館のHP: <http://www.gensai.nagoya-u.ac.jp/>



地震応答体感装置



免震ギャラリー

より高い技術と意識が安全を生む!!

プラスαの講習を

免許講習

- クレーン・デリック運転士(5T以上)
- 移動式クレーン運転士(5T以上)
- 衛生管理者受験準備講習

技能講習

- 玉掛
- 床上操作式クレーン
- 小型移動式クレーン
- ガス溶接
- 車両系建設機械 (整地・運搬・積み込み・掘削)
- 解体用機械
- フォークリフト
- 不整地運搬車
- 高所作業車

特別教育

- クレーン(5T未満)
- 小型車両系
- 高所作業車
- アーク溶接
- 酸素欠乏症等
- 巻上げ機(ウインチ)
- 石綿
- 自由研削と石
- 低圧電気取扱
- 玉掛
- 粉じん作業
- チェーンソー

安全衛生教育

- 安全管理者選任時研修
- 刈払い機
- 振動工具
- 丸のこ
- 有機溶剤
- 騒音作業

24時間いつでもインターネット予約OK! 予約はこちらから→すみともけんき 愛知

伊勢湾岸自動車道、豊明インターより岡崎方面へ3.5KM(国道1号線沿い)

愛知労働局長
登録教習機関
住友建機販売(株)

住友建機教習所 愛知教習センター

TEL 0566-35-1311 FAX 0566-35-1300

〒448-0002 愛知県刈谷市一里山町深田1-1

役員・委員会等会議便り

<ボイラー関係>

〈開催予定〉

第1回理事会

- と き 平成27年5月29日(金) 14時00分
 ところ メルパルクNAGOYA
 ・平成26年度事業報告及び決算報告

<クレーン関係>

〈開催状況〉

第6回移動式クレーン製造整備部会

- と き 平成27年3月3日(火) 14時00分
 ところ 支部会議室
 ・次年度事業計画具体案について

〈開催予定〉

第5回クレーン製造整備部会

- と き 平成27年3月20日(金) 14時00分
 ところ 支部会議室
 ・次年度事業計画具体案について

第1回理事会

- と き 平成27年5月21日(金) 14時00分
 ところ メルパルクNAGOYA
 ・平成26年度事業報告及び決算報告
 ・任期満了に伴う役員改選

ボイラーニュース 平成27年3月号
 クレーンニュース

発行日 平成27年3月15日

発行所 一般社団法人 日本ボイラー協会愛知支部 事務局
 一般社団法人 日本クレーン協会東海支部

〒460-0002 名古屋市中央区丸の内2丁目2番15号
 東 照 ビ ル 2 階

電話 〈052〉231-4633 (クレーン関係)
 〈052〉231-4632 (ボイラー関係)

<http://www.jcatokai.jp> (クレーン関係)

<http://www.jba-aichi.jp/> (ボイラー関係)

(-15031340K)

●●●●● 編集後記 ●●●●●

両支部ともに、今年度最後の理事会を終え、事業報告と収支決算、来年度計画と予算等が承認されました。今後も会員の皆さま方に愛される事務局であり続けたいと願い、業務運営に努めて参ります。

今月は、東日本大震災から4年、地震関係の記事を掲載しました。減災館への訪問など参考にさせて頂いたら幸いです。

さて、中東の事件が、私達日本人にも重要な意味を持つことを恐怖とともに認識させられた今日この頃です。先日、丸の内界隈を歩いていると、外国人が家族写真のためスマホを構えており、声を掛け私がシャッターを押しました。聞くとマレーシアから来られた観光客とのこと。マレーシアは、イスラム、仏教、ヒンドゥーと多宗教が混在していますが、仲良く暮らす国です。片言英語でにこやかに会話を楽しみ、握手をして別れました。世界が仲良く暮らせる時代はいつ来るのでしょうか？一つびっくりしたのが、マレーシア人のスマホです。写真を撮っても音がしないのです。シャッター音は、日本のオリジナルなのかと思った次第です。

非暴力の世界を夢想していたら、インド人の友人が非暴力主義者ガンジーの思想や考え方だと「七つの社会的罪(Seven Social Sins)」(1925年ガンジー)を教えてくださいました。彼は多くの日本人にも知って欲しいと言っていました。それは、

- 「理念なき政治」 (Politics without Principle)
- 「労働なき富」 (Wealth without Work)
- 「良心なき快楽」 (Pleasure without Conscience)
- 「人格なき学識」 (Knowledge without Character)
- 「道徳なき商業」 (Commerce without Morality)
- 「人間性なき科学」 (Science without Humanity)
- 「献身なき信仰」 (Worship without Sacrifice)

です。後年、ガンジーの孫アランが、「責任なき正義」(Rights without Responsibility)と8つ目を記しました。これは一部の報道機関のことでしょいか。最近、フランスの経済学者ピケティが評判ですが、「労働なき富」は彼の経済的不平等の問題提起に通じるのではと思いました。「良心なき快楽」とは違法ドラッグ、いや無駄遣いでしょうか。その他、自身のチェックリストとして見ていくと興味深いと思いました。

恐れ多いのですが、これに9つ目を加えようと思います。

「安全なき労働」 (Labor without Safety)

です。昨年のクレーン等の災害発生状況は最悪の事態でした。被災者、ご遺族の涙を思う時、死亡災害はゼロでなければならぬと決意するのです。そして、安全の確保されていない作業は、社会的罪である、と思うのです。(T.M)

システムエンジニアリングの近藤設備設計

■ボイラー

三菱CE・KSS石炭焚・KSS木屑焚
 廃熱・炉筒煙管・貫流

■ストーカー

スプレッター・移床式
 チェンクレーン・揺動式

■産業廃棄物焼却処理装置

スラッジ・廃液・一般雑芥

■集塵装置

マルチクロン・電気集塵機
 スクラバー・バッグフィルター

■各種プラント・設計施工

●経済産業省電気事業法による
 熔接方法認可工場

●厚生労働省ボイラー及び第一種圧力容器
 製造認可工場



近藤設備設計株式会社

本社・工場 〒485-0802 愛知県小牧市大字大草字太良3374番地
 TEL 〈0568〉79-3511 (代表) FAX 〈0568〉79-6810

URL <http://www.kondosetsubi.co.jp>

e-mail info@kondosetsubi.co.jp